

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No.	6089	(H.28)No.	6089
-----------	------	-----------	------

事務事業名	建築開発指導事務費		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	都市計画室	田中 康生	

会計区分	事業コード	411301
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	建築開発指導事務費	
項 都市計画費	(小事業名)	
目 都市計画総務費	建築開発指導事務費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	4	魅力的な都市環境づくり
	施 策	1	土地利用
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
建築行政及び開発指導を行うことにより、住みよいまちづくりの形成を推進します。
事業内容
① 特定行政庁の円滑な運営 ② 土地利用の誘導と開発指導要綱の運用 ③ 建築協定及び地区計画の運用 ④ 被災建築物の応急危険度判定の運用

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	・建築確認申請 54件 ・完了検査 49件 ・長期優良住宅認定 68件 ・低炭素建築物認定 0件 ・建設リサイクル法届出審査41件 ・建築一般・道路相談 15件 ・建築協定 届出審査 4件 ・地区計画 届出審査 10件 ・中高層建築物・集合住宅 届出・審査 16件 ・開発指導要綱に関する 申請の受付・指導 10件 ・省エネ法審査 6件 ・建築行政(審査・指導等)に 関わる研修等への参加10回 ・違反対応 6 件	・建築行政及び開発指導に関 わる審査、指導等を行う。 ・関係法令に関する研修等に 参加し、知識を習得する。	・建築行政及び開発 指導に関わる審査、 指導等を行う。 ・関係法令に関する 研修等に参加し、知 識を習得する。 ・新規資格取得者が 必要な研修への参 加。	・建築行政及び開 発指導に関わる 審査、指導等を行 う。 ・関係法令に関す る研修等に参加 し、知識を習得す る。	・建築行政及び開 発指導に関わる 審査、指導等を行 う。 ・関係法令に関す る研修等に参加 し、知識を習得す る。

	H.28年度(決算見込)	H.29年度(作成時予算額)	H.30年度(計画予 算)	H.31年度(計画予 算)	H.32年度(計画予 算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分	
①直接事業費		800千円		1,072千円	1,386千円
内 国・県支出金		43		28	28
訳 地方債					
(千 円)					
その他(手数料)		1		21	21
一般財源	0	756	0	1,023	1,337
職員		2.65人		2.75人	2.75人
臨時職員等		0.35人		0.40人	0.40人
②概算人件費	0千円	20,470千円	0千円	21,305千円	21,305千円
①+②総事業費	0千円	21,270千円	0千円	22,377千円	22,691千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
建築指導においては、違反建築物の指導に注力し、是正が完了するまでフォローアップを継続した結果、比較的大きな違反物件が解消された事例もあり、一定の成果を見えています。なお、苦情を含む違反建築情報は近年増加傾向で、対応に要する人員確保が課題となっています。また、地震災害時の被災建築物に対する応急業務に関する協定を三重県建築士会伊賀支部と締結し、地震発生時の応急危険度判定業務の強化が図れました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】	継続(現行)
継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に係る市の計画
建築指導、開発指導の円滑で確実な運用を維持しつつ、建築物、開発事業の安全安心の確保を目指します。 また、建築協定の期間満了を迎える2つの団地について、それぞれの自治会と協働し、建築協定の更新等これからのまちづくりについて話し合いながら推し進めていきます。	